

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒個々の学びを深め進路実現を図る教育課程を編成し、学習意欲と学力を向上させる。</p> <p>②カリキュラム・マネジメントを推進し、教科横断的かつ探究的な学びを通して課題発見・解決できるグローバルリーダーを育成する。</p> <p>③特別活動等を通して主体性、社会性、協働性、創造力等の育成を図る。</p>	<p>①履修指導を通して、生徒の学習意欲と進路実現するための学力を育成する。</p> <p>②ICT 機器や生成AI を活用した課題解決力、異文化・国際課題を取り上げた探究活動の深化を目指す。</p> <p>③学校行事等を通して、協働性や主体的に集団に関わる力を養い、課題解決に向かう力や自己実現を図ろうとする力を育成する。</p>	<p>①本校の授業の魅力を整理・発信し、生徒の関心や進路との関連を重視した履修指導を充実させる。</p> <p>②デジタルツールを活用し思考を可視化し、プレゼンテーションやレポート作成の指導に活かす。講演や各行事により、多様な価値観に触れる機会を提供する。</p> <p>③各集団が主体的に目標や課題を認識し、協働的に学校行事等に取り組めるよう、事前学習や事前準備の時間を充実させる。</p>	<p>①効果的な履修指導により学習意欲や学力は向上したか。(履修登録者数や履修単位数の推移)</p> <p>②他者の考えを知り、自らの考えを深め、課題の解決方法を考えられることができているかについて、生徒による授業評価アンケートへの肯定的な回答率を昨年度より向上させる。</p> <p>③学校行事等について、主体的、協働的に取り組み、社会性の獲得や自己実現を図ることができたか。(行事实施後の内外のアンケート等)</p>					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①生徒指導・支援の組織的取組を推進し、生徒が安心して学べる学校づくりを進める。</p> <p>②部活動や課外活動を支援し、責任感や連帯感の涵養を図る。</p>	<p>①生徒一人ひとりが安心して学び、自己肯定感を高められる学校環境の実現を目指し、組織的な生徒指導・支援体制を強化する。</p> <p>②部活動を通して、主体性や責任感、連帯感の涵養を促し、集団活動の充実及び自己実現を図る。</p>	<p>①いじめ・暴力の未然防止と早期対応に重点を置き全職員による情報共有と早期発見及び迅速対応の仕組みを確立。年2回のアンケートを通じて、生徒の不安や悩みを早期に把握する。</p> <p>②活動発表の場や、部活動説明会、部活動表彰等を充実させ、部活動の活性化を図る。</p>	<p>①いじめや暴力、不登校などの未然防止・早期対応が組織的に行われているか。(いじめアンケートやSC等の利用率での数値確認)</p> <p>②活動実績の他、各部、各個人が、目標を持ち、自己実現に向けて計画性を持って活動できたか。(部活動対象アンケートの実施)</p>					

視点	4年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	<p>①様々な教育活動をととして、生徒が主体的に進路目標を定め実現していく力を育成する。</p> <p>②キャリア発達課題を意識した進路指導の充実を図る。</p>	<p>①生徒自身が進路について主体的に考え納得できる進路実現のため、進路行事を開催し、生徒一人一人のニーズに合った進路情報の提供を行う。</p> <p>②全職員が生徒の主体的な進路実現のために様々な場で適切なアドバイスができるよう情報提供を行い、職員の進路への意識を高める。</p>	<p>①生徒の進路実現のため、進路説明会や校内模試の事前・事後指導を実施する。校外の活動や制度についてClassroom やガイダンスルーム掲示により告知する。</p> <p>②校内模試の結果を有効に活用するために職員向けデータ分析報告会を行う。進路情報をTeams上で共有する。</p>	<p>①生徒の校内模試への理解を深め、取り組みが向上したか。校外の活動や制度の利用件数が増加したか。インターンシップの参加率が上昇したか。</p> <p>②Teamsでの情報提供や報告会をととして、生徒の進路状況への理解が深まったか。</p>					
4 地域等との協働	<p>①地域資源を活用した教育活動を行い、未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する。</p> <p>②家庭、地域社会等との連携・協働により、持続可能な社会の創造を図る。</p>	<p>①授業やグローバル教育に係る行事等で外部資源と連携・活用し、探究的に社会問題に向き合い、多角的に思考する力の育成を図る。</p> <p>②学校・家庭・地域が相互に連携・協働し、地域住民や多様な団体の参画を得て、子どもたちが地域社会の一員として持続可能な社会づくりに主体的に関わる態度や実践力を育成する。</p>	<p>①外部講師や他校の生徒を招き、社会問題を議論する行事を実施する。フィールドワーク等を実施する。</p> <p>②地域住民や関係団体と連携した体験活動や学習活動(環境保全、防災、福祉、伝統文化、地域清掃など)を年間計画に位置付けて実施する。</p>	<p>①自ら課題を見出し、多角的に思考しようとする生徒の意識を醸成することができたか。(講演の振り返りや、生徒によるアンケート評価)</p> <p>②地域・保護者参画行事の実施回数や地域課題解決型学習の実施回数が増加しているか。</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>①社会の変化に対応し、柔軟かつ迅速に教育課題に取り組み、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。</p> <p>②教育計画とのバランスを図り、教員の働き方改革を進める。</p>	<p>①月2回のホームページ更新による教育活動の可視化と、双方向型の説明会実施を通じて、学校への安心感と期待感を醸成する。</p> <p>②教育計画と整合性を保ちつつ、校務の適正化、教員の負担軽減、ワークライフバランスの改善に向けた業務改革を具体的に進める。</p>	<p>①イベント等のタイムリーな情報発信を行う。また、掲載情報も充実させるとともに、学校説明会等で提供する情報の最適化に努める。</p> <p>②業務の精選とICT化による効率化、職員間での業務分担の明確化と協働の仕組みづくりを各グループで行う。</p>	<p>①ホームページで教育活動の周知ができていたか。効果的な説明会を実施できていたか(学校説明会アンケート)。</p> <p>②各グループで改善点があったか。校務分掌の満足度や実感値で実効性を確認する(アンケート、ヒアリング)。</p>					